

合格体験記 (76期生)

令和6年7月作成

八尾高校の在校生の皆さん、今春の卒業生(76期生)の「合格体験記」がまとまりました。76期生も、高校生活の3年間を通して、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた学年でした。しかし、そのような大変な中であっても、最後まで頑張り抜いた先輩が多くいました。みなさんの直近の先輩が、皆さんの“第1志望”の実現のためにアドバイスを送ってくれています。今後の受験に向けた取り組みについて参考になることが、たくさん記載されています。例年通り、「クラブ活動との両立」、「日常における学習方法」、「受験に向けて大切なこと」など、項目別にも書いてもらいました。ここ数年は“先輩たちの合格体験記を繰り返して読むことで、モチベーションを維持して頑張れた”という声も多くなって来ました。是非、しっかりと読んで、今後の学習活動や進路実現に向けた取り組みの参考にしてもらいたいと思います。

進路指導部

目 次

◎国公立大学

【一般選抜 前期】

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| ① 大阪公立大学 | 法学部 | 軟式野球部 |
| ② 大阪公立大学 | 理学部 | ギター部・茶道部 |
| ③ 大阪公立大学 | 現代システム科学域 | 陸上競技部 |
| ④ 大阪公立大学 | 工学部 | 吹奏楽部 |
| ⑤ 大阪公立大学 | 経済学部 | ハンドボール部 |
| ⑥ 大阪公立大学 | 医学部 | 硬式野球部 |
| ⑦ 大阪教育大学 | 教育学部 | バスケットボール部 |
| ⑧ 大阪大学 | 文学部 | 剣道部・茶道部 |
| ⑨ 神戸大学 | 工学部 | 体操部 |
| ⑩ 高知大学 | 農林海洋科学部 | 卓球部 |

【一般選抜 後期】

- | | | |
|----------|------|------|
| ⑪ 大阪公立大学 | 文学部 | |
| ⑫ 大阪教育大学 | 教育学部 | 吹奏楽部 |

【学校推薦型選抜】

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| ⑬ 大阪教育大学 | 教育学部 | 放送情報部 |
| ⑭ 兵庫県立大学 | 社会情報科学部 | 漫画研究部・食物研究部 |

◎私立大学

- | | | |
|---------|------|---------|
| ⑮ 同志社大学 | 政策学部 | ソフトボール部 |
| ⑯ 立命館大学 | 文学部 | 硬式テニス部 |

① H . M 大阪公立大学 法学部 前期合格
軟式野球部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

基本的にオフは週1で、家が遠く部活の帰りが遅かったのであまり授業の予習や復習はしていませんでした。ただ、小テストの勉強や宿題は欠かさないように心がけていました。正直に言うと、部活との両立ができていたかと言われれば、あまり自信がないですが、テスト前はそれを取り返すために頑張っていました。

(2)1・2年時の学習方法

先ほども言ったように、普段はあまり勉強していたわけではなかったので、授業の時間内で理解できるように集中していました。テスト1週間前までには、ある程度課題は終わらせていました。僕は理系科目が苦手なので、出来るだけワークを何度も解いて難しい問題も出来るだけ捨てないようにしていました。「指定校推薦狙ってないし、別に定期テスト適当でいいや」と思っている人もいるかもしれませんが、定期テストの勉強が受験勉強につながってくるので、しっかり勉強することをおすすめします。

(3)志望校の決定について

関西圏の国公立に行きたかったので2年生のころから大阪公立大学をめざしていました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

4月頃から周りが部活を引退し始めていたので、少し焦りを感じはじめ、部活終わりに少しだけでも毎日勉強するようにしていました。内容は1年の頃の復習(特に社会、理科)や英単語など基礎的なことです。また苦手な数学を重点的にしていました。夏まで部活がある人もそうでない人も、この期間にどれだけ基礎を固め、勉強をする習慣をつけるかによって、引退後の勉強に大きく関わると思うので、少しずつでも勉強を始めるようにした方がいいと思います。

②夏休み

引退してから出来るだけ早く切り替えることを意識して勉強していました。僕は世界史選択だったので、授業より先取りして勉強していました。また数学は1年、2年の基礎的な内容を繰り返ししていました。勉強時間はだいたい10時間くらいです。

③9月～11月

この時期から数学のできなさに危機感を覚え、一番勉強していたと思います。夜に勉強するのが得意ではなかったので、夜は早めに寝て、朝早く起きていました。朝は、数学や理科といった理系科目をし、夜は社会や英語などの暗記科目をしていました。周りの人は自分よりも早く勉強を始めていたので、刺激をもらいながらひたすら勉強していたのを覚えています。10月頃から共テ対策問題集をやり始め、その難しさに打ちのめされながら復習を繰り返していました。僕はどうしても点数に一喜一憂してしまっていました。この時点で出来ないのは当然です。だから心を折られないように！また、高得点をとったからといって過信しないように！正解した問題も間違えた問題も解説を読み込むようにしてください。

④共通テスト前

一番心が折れそうなきだだと思います。僕はあともう少して理系科目を勉強なくていいということだけをモチベーションに頑張っていました。難しい問題を解くのは1週間前まで

にし、できなかったときは問題との相性が悪かったと割り切り、あまり気にしないようにしていました。12月が一番しんどい時期ですが、まだ伸びる時期だと思います。学校にはちゃんと行って、友達と苦しさを共有して、みんなで乗り越えてください。1月は正直できることはあまりありません。できることと言えば、身体と心をベストの状態に持って行くことだと思います。ここまでやってきたことを信じましょう。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

英語と国語だけに減ったことで、時間の使い方が少し難しかったです。とにかく過去問を解きまくり、しつこいくらい先生に添削してもらっていました。英語は過去問を解いたあとは英文と和訳を照らし合わせながら英文に出てきた文法や熟語、単語をすべてノートにメモしていました(これが正しかったかはわかりません)。国語も先生に何度も丁寧に添削してもらっていました。本当に感謝しています。

*私立入試直前

過去問を解いていました。共テ前にほとんどしなかったのはよくなかったかなと思います。

(5)大学受験で大切なこと

学校に行くことだと思います。先生にも言われると思いますが、個人的に本当に大事だと思います。特にしんどくなる12月や1月は休む人が増えてきます。学校に行く時間がもったいなく感じたり、自分のしたい勉強ができないという理由だと思いますが、友達と会って勉強の愚痴を言い合ったり、くだらない話をするだけで心が回復します。一人で勉強するよりもやる気も出てきます。焦りを感じたときこそ学校には行くほうがいいんじゃないかなと思います。

(6)後輩へのメッセージ

1年生へ 高校に入っていくなりこれを読んで怖くなっていると思いますが、存分に高校生活を楽しんでください。そして定期テストの勉強はきちんとしてください。進路も少しずつ考えましょう。

2年生へ 一番楽しい時期だと思いますが、自分の行きたい大学があるなら少しずつでも勉強をすると全然違います。とはいえ、3年になると嫌というほど勉強と思うので友達と遊ぶことや、部活にも全力を注いでください。

3年生へ もしかしたら家庭の事情で塾に行けない人もいるかもしれませんが大丈夫です。僕もその一人です。塾に行っていない人はもちろん、塾に行っている人も学校を大切にしてください。授業や友達と会うことを大切にしてください。また朝型の勉強がおすすめです。どうしても夜遅くやってしまう人は、今のうちに朝型に切り替えておきましょう。みんなで受験を乗り越え、みんなが納得のいく進路に進めるように祈っています。頑張ってください！応援しています。

② T . Y 大阪公立大学 理学部 前期合格 ギター部、茶道部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

平日は、毎日部活動がありましたが、小テストの勉強だけは平日にもしていました。課題は休日にまとめてするようにしていたので、両立について困ることはなかったです。

(2)1.2年時の学習方法

受験のための勉強というのは、特にしていなかったです。小テストで満点が取れるように、定期試験では計8割の点数をとれるように、そのための勉強をしていました。小テストや課題は、全て全力で取り組んだ方が後のためにもなると思います。今単語を覚えても受験期には忘れるだろうという考えは間違いとは言いませんが、一度見たことがあるかないかでは、思い出しやすさが大きく変わります。それに、いざ受験期だ、と単語を覚えようとしても覚え方が身につけていないと中々覚えられません。成績どうこうより、自分のために、日々の勉強をコツコツと頑張れることは、後の大きな武器になります。

(3)志望校の決定について

1年生のときから大阪公立大学は志望校として考えていましたが、目標は高い方が良いという担任の先生からの助言により大阪大学を第一志望にしていました。最終的には、共通テストの結果を見て大阪公立大学の受験を決めました。学部学科については、1年生のときの探究の授業で興味のある分野を見つけ決定しました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

引退は3年の5月頃でしたが、このときはまだ受験に集中して勉強するというよりは授業内容についていくという考えで勉強していました。

②夏休み

受験対策として学校で開かれる講義を4つ選択し、夏休み中でも週に4回ほど学校に行っていました。講義前後は、自習室で自分がわからないと思う範囲を集中して勉強していました。自習室は夏休み中が最も人が多く、また静かであるので非常に勉強に適しておりオススメです。多くの人はこの時期から共通テスト対策や志望校の赤本を解くということを勧められており、実践する人も多いのですが、僕の場合は知識に不安がある状態で実践形式の問題を解いても意味がないと考えていたので、基礎固めばかりをやっていました。しかし、一度は志望校の模試を受けることを推奨します。目標レベルがわからないまま勉強をしても気合が入らないからです。僕自身も、気になる大学の模試を2回ほど自分で申し込んで受けました。この段階では良い判定でなくてもいいです。自分の今のレベルと問題形式を知ることが重要であると思います。

③9月～11月

得意を伸ばすよりも苦手を無くした方が不安になることは少ないと考えて、自分が苦手としていた化学、数Ⅲの勉強を中心にしていました。この時期になると、通常授業でも共通テスト対策が多くなるので、国語は自分ではあまり勉強していなかったです。英語は共通テストでも二次試験でも非常に難しい科目だったので、長文読解、単語、熟語、リスニングを均等に勉強しました。また、この時期から特に大切だと思うことは、友達との時間を大事にすることです。精神面で自分自身も多く助けられたので、休み時間は誰かと話すなど、とにか

く塞ぎこまないようにすることが何よりも重要だと思います。

④共通テスト前

学校販売の共通テスト形式の問題集を大量に購入して、とにかく知識の確認と時間内に解ききる練習をしていました。共通テストは時間設定がかなり厳しくなっています。時間配分や素早く解くコツを、問題集で何度も実践しておいて、本番でもスラスラとできるようになっておくことが重要です。また、本番前日にもおそらく学校があると思います。休む、休まないは個人の自由ですが、僕としてはいつも通りに登校して、変に緊張することなく本番を迎える方が、休んで、焦って勉強するよりも良い結果が出せると思います。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

主には各教科でこれ、と決めていた問題集を解くことをしていました。分野によって問題集を変えてもいいとは思いますが、基本的には信頼できる一冊を仕上げるというやり方の方が自信がつくと思います。赤本はこの時期になってようやく使い始めましたが、本来は夏頃に志望校の赤本を一度やっておいたほうが良いと思います。

*私立入試直前

過去問は二回分ほどやって、あとは単語、熟語の勉強をしていました。僕の場合は受験科目が英語のみだったので、いつも通りの勉強をして、特に私立入試対策というのはしなかったです。どの大学に関してもそうですが、大学によって問題形式や試験時間、頻出範囲が多種多様なので、大学の問題はよく研究することが大切だと思います。

(5)大学受験で大切なこと

まず、第一に「健康」でいることが大切です。張り切って遅くまで起きない、ご飯を抜かない、人混みを避ける、といったことを意識的に行えるように、また、先程書いたように、友達との時間をとるようにすると、健康を維持できます。常に健康体でいられることは、本番に万全で挑めることはもちろん、普段の集中力や記憶力にも直結します。今まで以上に「健康」に気を使うことが非常に大切だと思います。

第二には「授業」を受けることが大切だと思います。それはキレイゴトだ、と思われるかもしれませんが、学校の授業には受験に必要なものが全てあります。もちろん、授業だけを受けて自分で何もせず受験に合格できるわけではありませんが、勉強は学校の授業内でどれだけ知識を吸収できるかにかかっていると僕は考えています。僕がこの3年間の学校生活で最も気をつけたことは、授業内で内容を理解できるようにすることです。一度理解できると次に勉強するときにスムーズに理解できます。これができると定期試験の勉強等でも役に立つので、「授業」を大切にしてください。

そして第三に、「環境」が大切だと思います。よく塾に行くべきか、と悩む人がいると思います。家や学校では勉強に集中できない、という人は塾に行くのも1つの手です。また、「わからないところ」がわからない、という人は塾に行けば様々なコースで手助けをしてくれます。しかし、集中できる環境がある、自分でやるべきことがわかっている、という人は塾に行く必要はないと思います。僕は高校受験のときからお世話になっていた地元の塾で英語だけ受けていましたが、他の教科に関しては学校外では教えてもらっていません。塾、学校で自習ができる、わからないところがわかると考えていたからです。自分の「環境」に合わせて最良の勉強ができる選択をとることが大切だと思います。

(6)後輩へのメッセージ

受験はただ勉強すればいいというわけではなく、気を遣わなければいけないところがたくさんあります。心身ともにとても弱ります。もう駄目だということも何度もあります。そんなときには、周囲の人に頼ったり、1日思い切り遊んだりしてみてください。とにかくネガティブでなくポジティブに生活してください。みなさんが自分の夢を実現できることを心から応援しております。

③ S . T 大阪公立大学 現代システム科学域 前期合格 陸上競技部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

家に帰ってからあまり時間がなかったので、夜ご飯を食べながら英単語を覚えるなどして勉強時間を確保していました。時間がなく、できることが限られているので英単語、英文法、数学ⅠⅡBの復習などの優先度の高いことに時間を使うようにしていました。

(2)1.2年時の学習方法

私が受験を意識したのは3年からなので1,2年の時は、特に受験勉強はしていませんでした。ただ、定期テストはしっかり勉強していたこと、授業中にボーっとするのではなく頭を動かして考えていたこと、なるべく丸暗記に頼らないことを意識していたことは受験に役立ったと思います。

(3)志望校の決定について

私は大学で部活を頑張りたいと考えていたので、部活ができる環境があること、また、機械系や情報系の職に就きたかったのでそれが実現できる学部があることを軸に考えて、なおかつ学費が安かったので大阪公立大学に決めました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

部活引退前は部活のことで頭がいっぱいで、数学と英語の基礎さえ終わっていなかったぐらい勉強に手を付けることができていませんでした。

②夏休み

夏休みの途中で部活が終わったので、そこからは勉強習慣をつけるために、毎日10時間勉強することを目標にしていました。しかし、今まで勉強を本格的にやった経験がなかったので、その目標は達成できずに夏休みが終わってしまいました。この時には、早めに受験勉強を始めた人との差がとても開いていたので焦っていました。

③9月～11月

この時期が受験勉強の中で一番頑張りました。周りとの差を埋めるために日常生活のすべてを勉強に費やしていました。朝起きて1時間半は英語の音読、ごはん中は英単語、学校が閉まるまでは自習室にこもって勉強、帰宅中は英単語の音声を聞きながら暗記、家に帰ってからはこたつに入って怠ける前に机に向かって勉強、寝る前に勉強というように使える時間をすべて勉強に使っていました。この時期は普通、問題演習を積むと思いますが、私は基礎が固まっていなかったため、基礎固めを中心にやっていました。

④共通テスト前

私の受験プランでは、共通テスト3科目でしっかりと得点することが最低条件だったので

この時期は毎日英語、数学、物理の共通テストの予想問題を解いていました。とても負担の大きい勉強だったのですが、この勉強のおかげで時間配分をつかむことができたので、本番がうまくいったのだと思います。また、冬休みの間に数学Ⅲの基礎固めを始めました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

私の受けた私立の必要科目は数学、英語、物理だったのですが、国公立の二次の必要科目は数学、英語だけだったので英語と数学だけを勉強しました。共通テストが終わって、そこから時間が全然残っていなかったのをやることを絞って勉強しました。まず、全然手を付けることができていなかった数学Ⅲと英作文を勉強し始めました。そして2次の20日前ぐらいから過去問を毎日解いていました。数学Ⅲと英作文は本番までに間に合わなかったのもっと早めに始めることをお勧めします。

*私立入試直前

共通テストの点数が思っていたより取れたこと、ほかの人より時間が残っていなかったこと、共通テスト利用で出願したところが受かっていそうだったことから、私立の一般入試は国公立の本番慣れのためという気持ちで受験しました。

(5)大学受験で大切なこと

私が思う大学受験で大切なことは目標から逆算して現実的な目標を立てることです。そのためには早めに過去問を見て、どの参考書を使うか決めて、それにかかる時間を考えて、いつそれをやるのかを決めることが必要です。

(6)後輩へのメッセージ

勉強を遅く始めると、勉強の成果が出るのは試験直前になってしまうので、精神的にしんどい戦いになると思います。早めに勉強は始めたほうが良いと思います。精神的につらくないぐらいのペースで勉強するほうが良いと思います。

④ K . N 大阪公立大学 工学部 前期合格 吹奏楽部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

1、2年生の頃は部活と勉強(定期テスト)の両立はある程度できていたと思います。ですが、2年生の2月に実施された共通テスト本番レベル模試で5教科7科目で偏差値39だったとき、残り1年で両立しながら志望校のレベルに到達する自信はありませんでした。部活も最後までやりきりたかったのですが、「部活をやりきったけど不合格」と「やりきれなかったけど合格」のどちらが後悔しないか考えた結果、退部しました。

(2)1.2年時の学習方法

授業はしっかり聞いていましたが、予習復習はほとんどしていませんでした。テストは平均70~80点くらいをめざして、2週間ほど前から勉強していました。テスト前にしか勉強していなかったため、定期テストが終わると勉強した内容を忘れてしまうことが多かったです。少しでもいいので、テスト前以外も勉強しておけばよかったと思います。塾には2年の冬頃から通い始めました。

(3)志望校の決定について

将来のことを考えるのが嫌いだったので、入学当初は何も考えていませんでした。塾に通い始めた辺りから大阪公立大学をめざすことにしました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

3年時は退部していたので、その分勉強に集中できました。数学、英語の基礎を固めることや1年時に化学の授業がなかった分、他校と差がつきやすい化学を勉強していました。まだ学校の授業で習っていない範囲は塾での授業が有り難かったです。

②夏休み

同じ問題集を2周、苦手な分野は3周やるなど、引き続き基礎固めを続けました。また、YouTubeの勉強解説動画もよく見ていました。1.5倍速や2倍速で見ると効率もよく、わかりやすい動画がたくさんあったのでかなり助かりました。ただ、スマホを使う危険性も忘れてないでください。勉強関連しか見ないという強い意志が必要です。

③9月～11月

9月を過ぎた辺りから、共通テストまで残り〇〇日！という話題が出始め、自分も周囲も焦ってきて、不安を感じるようになってきました。10月頃から共テ対策で国語を始めましたが、特に古典は夏休みに一度勉強しておくべきだったと感じました。地理で伸び悩む人が多かったですが、普段から授業を聞いていたおかげか得意でした。また、家庭の事情で浪人はできなかったのも、年内にはどこかに合格しておきたいと思い、11月に公募制推薦入試を2校受けました。この時期は公募制推薦入試を受けない人は共テ対策に集中していたので、「第一志望じゃない大学のために勉強しているのいいのか？」と何度も思いましたが、後々になってから、第一志望ではないが大学には合格しているということが精神的助けになりました。

④共通テスト前

この時が一番精神的にきつかったです。私立は日程が複数あったり、高得点方式などがあったり、合格するチャンスは複数回ありますが、共通テストは一発勝負。しかも、まだ共テ模試で目標点に1度も到達していなかったからです。とりあえず、今まで勉強してきた苦手な分野を全て潰していけるよう計画を立てて勉強しました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

塾では過去問と和文英訳の添削をしてもらい、家では数学は色々な大学の問題が載っている問題集、英語は記述式の問題集、物理も時間はかかりますが記述を意識して解き、化学は構造決定を重点的にしました。共通テストで目標以上取れたので、比較的自信をもって本番を迎えることができました。

*私立入試直前

本命は大阪公立大学で、公募制推薦入試である程度私立対策はしていたので、過去問を3年分ほど解いたぐらいでした。

(5)大学受験で大切なこと

1番大事なのはいっぱいメンタルだと思います。その日の精神状態でなかなか思うように勉強できなかったときがありました。誰でも少なからずそんな日があると思います。それでも、

受験するときに「あの時絶対もっと勉強できたはず。バカやったな。」と自分を責めるのではなく、そういう日も含めて「自分ができる範囲のことはやった。」と開き直るのが大事だと思います。また、しっかりと実現可能な計画を立てて、量だけをこなすのではなく数学は特になぜこの記述が必要なのか、なぜこの解法を使うのか、といった本質を理解することが大切だと思います。あと、当たり前ですが出願や入学金などの手続きは間違えないように気をつけることです。私は公募制推薦入試の出願で間違えて志望学部とは別の学部に出願してしまいました。ある友達は入学金の支払いを忘れて、公募制推薦入試で受かったのに一般でもう一度受けた人もいます。

(6)後輩へのメッセージ

大変なときは先生や友達、家族に助けてもらうことも大事ですが、結局頼れるのは自分自身だと思います。受験当日に頼り甲斐のある自分になれるよう日々の勉強頑張ってください。八尾高校の先輩として応援しています。

⑤ Y . K 大阪公立大学 経済学部 前期合格 ハンドボール部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

基本は部活優先の生活を続けていましたが、高3の春休みごろからは部活が終わって帰宅した後に、数時間勉強をするように心掛けていました。

(2)1.2年時の学習方法

正直受験勉強としては高2の1月に誕生日プレゼントで鉄壁という単語帳を部活の友達に貰うまでほとんど勉強していない状態で、授業での小テストは直前の10分休憩、定期テストでは1週間前からやり始め、課題に追われるという典型的な自堕落な高校生活を送っており、その結果1年に8個、2年に3個の欠点を取る羽目になってしまいました。

(3)志望校の決定について

自分自身学費の面で負担をかけたくないという思いが強かったため、学費が安めである国公立の大学を志望していました。高3になるころ、その中でも大阪公立大学は学費が全額無償化になり、これから勢いもある大学ということを知り、大阪公立大学で大学生活を過ごしたいという気持ちが強くなっていきました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

正直高2の1月まではほぼ自学自習はしておらず、テスト1週間前の勉強しかしていませんでした。高2の1月からは、平日は勉強出来なかった日も多かったですが、休日には少しだけだとしても机に向かい受験勉強をする習慣を付けていました。また、部活の仲間と勉強用のグループを作ったり、Studyplus というアプリで勉強記録を付けあったりしていました。

②夏休み

部活はすでに引退し、いろいろな人から”夏は受験の天王山”という言葉を知っていたため6月から入った予備校に、学校で講習を朝から受けた後、できるだけ早く行き、22時まで残ると決め、この時期はやらないと始まらないので質よりも量を重視していました。それでも学校行事を疎かにしたくはなかったので、できる限り文化祭の準備などには積極的に参

加し、学校行事との両立も心掛けていました。参考材料としてもらえればいいのですが、夏の全統マーク模試は55.7%で、余裕でE判定でした。

③9月～11月

12月は基本的に共通テストに絞って勉強しようと計画を立てていたため、夏休みの量重視の勉強から2次向けの質重視の勉強をするようにしていました。この頃からだんだんと時間が貴重になってくるため、共通テスト、2次試験から逆算して週単位、月単位でどのように参考書を進めるべきかを計画し、2次試験の土台を固めるとともに、共通テストの漢文や理社をある程度仕上げることを心がけていました。しかし、10月に肺の手術をして2週間ほど入院することになり、思うように勉強できない日々が続いていました。またまた参考材料ですが、11月の共テプレは62.5%で、最後の模試までE判定でした。

④共通テスト前

とにかく共通テストの形式に慣れるために、共通テストの過去問、実践問題集を繰り返し解いていました。国語はセンターの過去問、数学や英語はZ会の実践問題集が難しい問題に慣れておくという意味でもとてもよかったです。古典や理社は詰め込めば詰め込むだけ点数が伸びるので、共通テストな試験開始時間まで何度も繰り返し頭に叩き込んでいました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

自分の場合は第一に数学、その次に英語が課題だったので、数学は直近13年分を復習も含めて2回、英語は直近5年分の長文を繰り返し音読し、本番の文章量でも素早く対処できるようにしていました。国語は数学や英語に比べると時間はとっていませんが、過去問を解いた後にもう一度読み、頭の中で文章を要約するようにしていました。

*私立入試直前

今までの勉強で私立受験の基礎はできていると思ったため、過去問をできるだけ解き、大学ごとの特色を掴み、それに順応できるためには何が必要かを考えて、場合によっては基礎に戻っていました。

(5)大学受験で大切なこと

本当にメンタルを1年間保ち続けることが一番大切です。自分の周りでも精神的に苦しんでいる友達を何人も見てきました。だからこそ、友達でも恋人でも先生でも誰でもいいので、辛いときにはすぐに話せて助け合える人を大切にしてほしいです。また、受験期は色々な情報が錯綜していると思いますが、それはすべて正解であって、すべて間違いです。参考書学習がいいのか、予備校がいいのかなども含めて自分で考えて行動しないとほぼ確実に遠回りをするし、無駄な映像の講座を取って数十万円を無駄にしたということにもなりかねません。それとも共通する話かもしれませんが、自分に合った効率的な勉強法をなるべく早く身に付けてほしいと思います。参考にしてくれたら嬉しいですが、僕は朝や就寝前には単話の勉強をして、帰宅時にはイヤホンで英語の長文の音声を聞きながらシャドーイングし、YouTubeなどの授業動画を見るときは食事中に視聴していました。

(6)後輩へのメッセージ

僕の志望校の大阪公立大学経済学部は共通テストのボーダーは73%で、僕が実際受けた共通テストの本番は67%しか取れず、リサーチもE判定しか見ることができませんでした。それでも実際受かっているし、過去問で合格点を超えたことも6~8年分解いた中で一度もあり

ませんでした。だからこそ模試の判定は鶏呑みにするのはマジでナンセンスです。良いときは自信材料にして、悪いときは受けた記憶を失くすくらいが一番精神衛生上でもいいと思います。ありきたりな言葉ですが本当に最後まで粘り強く頑張るべきだし、正しいやり方で本気で身を削って勉強をしているのなら最後のほうになるにつれて必ず伸びます。だから個人的には少なくとも秋ごろまでは志望校は変えないでほしいし、諦めなければ志望校に受からなかったとしても後悔することはないと思うので、ぜひこの一年だけは楽な道を選ぶようなことはしないでほしいと思います。頑張ってください！

⑥ Y . W 大阪公立大学 医学部 理学療法学科 前期合格 硬式野球部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

僕は硬式野球部に所属していました。他の部活よりも長い時間活動していて、あまり勉強時間は取れませんでした。そしてオフの日も毎回リハビリに通っていました。しかし、その中でも小テストの勉強は毎回欠かさず行っていました。また、日々の授業は寝ずにしっかりと聞いていました。(部活生は、朝練など疲れていると思いますが寝ないように頑張してほしいです。頑張っているけど寝ちゃったそんな時は八尾高の先生方もわかってくれます)そして、テスト1週間前に本気で勉強していました。その結果一回も赤点をとったことはありませんでした。まとめると、**授業寝ない・小テスト頑張る・一週間前本気で**、これで時間がなくていいです。

(2)1.2年時の学習方法

(1)で書いたように、3つのことを中心にやっていました。授業では完全に理解することは僕には不可能だったので、学校の問題集などを解くことで理解していました。やってほしくないですが、理解できないものは丸暗記していました(数学を含む)。1、2年の時はこれを繰り返していました。

(3)志望校の決定について

肩を怪我した際に、理学療法士にリハビリを受けていたことから理学療法士になりたいと思い、大学を探して大阪公立大学を見つけました。このときは1年生でした。アドバイスは、早いうちにやりたいことを見つけて大学を調べ、志望校を確立すること。そして、受験科目をしっかりと調べて、文系理系、選択科目を決めると良いです。

(4)3年時の学習方法

① 部活引退前

3月からスタディサプリを始めていて、引退するまではスタサプの英語、古典の授業を受けていました。それに加えてStock4500という単語帳を進めていました。学校の授業では、理解できず放置していた英文法、古文法、漢文句法をしっかりとこの時期にスタサプで理解できたのは受験勉強をするうえでとてもよかったです。SVOCなど五文型を理解するとどういうメリットがあるのか、強調構文、助動詞、再読文字など、学校の授業では理解できていなかったものが多かったため、ここにあげたものやそれ以外でも理解できていない人は、スタディサプリや、参考書などで分かりやすい解説を読んで理解してください。

② 夏休み

夏休みは、部活がまだあったので、昼休憩の時に参考書を読んだり、夜にスタディサプリをやったりしていました。引退してからは、文化祭準備に行っていたのであまり勉強をしていませんでした。数学が苦手だったのですが、得意な英語、現代社会ばかりやっていました。数学は基礎問題を一周しただけでした。この行動は反面教師としてください。苦手科目を進めるのがおすすめです。

③ 9月～11月

9月からは、数学もしっかりやっていました。具体的には、サクシードを11月末までに2,3周していました。英語は、12月に入るまでにStock4500を覚えきり、共テ対策講座を受講していました。これにより全統模試でreading S判定をとることができました。国語については、古文漢文はある程度できていたのですが、現代文ができないことに授業で気づきました。これは共テ前で触れます。現社、生物は暗記を繰り返していました。生物はニューグローバル一冊か、入門・基礎・応用問題精講でokです。模試の後にはしっかりと見直しをやっていました。

④ 共通テスト前

共テ対策は、数学を2010年センターから解き、その後、駿台の予想問題をやりました。英語は、共テ対策講座で共テ問題は解き終わっていたので予想問題を解いていました。国語は、2010年センターからと古文単語600、予想問題をひたすらやりました。現社は、暗記は毎日繰り返し、センター、共テ、予想問題をやりました。生物は教科書をぼろぼろになるまで書き込み使いまくりました。

アドバイス…数学、国語、社会などはセンターから解きまくってもあまり支障はないです。英語に関してセンターは通用しないので注意してください、またスキニングの技術も身につけてほしいです。現代文は、論理的に読むことを大事にしてほしいです。「なぜか解ける」、これは本番でこけます。社会系はとりあえず覚えまくれ!!!

⑤ 共通テスト後

*国公立2次試験対策

僕の学部は、英語と面接でした。大阪公立大学の英語は、阪大や神大ぐらい難しいといわれているので英単語帳はDistinction2000を使い、市大府大10年分公立大2年分、他大学の英語問題、英語長文スペクトル、肘井学の作文をやっていました。共テ英語に比べると、国公立2次の問題は、びっくりするほど難しいかと思いますが、抽象から具体の流れを意識して精読していくと解けるようになります。(抽象→具体の流れは演繹といい、英語というのはこれが90%使われます。英語の本質を理解することが英語の読解力につながります。先生に聞けば答えてくれると思うので聞いてみてください)二次対策は赤本を中心にやってください。先生を使い倒す勢いで。面接は、どの先生でも指導していただけるので、頼んでみてください。簡潔に、ゆっくりと述べるのが大事です。

*私立入試直前

大阪公立大学に行くことしか頭になかったのが、森ノ宮医療大学の公募で早めに決めました。関関同立など受けていませんが、コツコツやれば、めざせると思います。

(5) 大学受験で大切なこと

周りに流されすぎず、ぶれずに志望校合格をめざすことが大切です。参考書がたくさん出

版されている今、1冊を完璧にしていないのにすぐに他の参考書に手を出すと、落ちます。しかし、自分に合っていないのなら、それをやり続けると逆に落ちます。あとは、合格後大学での姿ややりたいことを考え、周りの人に何か言われても自分を貫くのが大切です。

(6)後輩へのメッセージ

週6で活動し土日は朝から夕方までやっている硬式野球でも国公立、関関同立に合格することはできます。強い意志を持てばやり遂げることができます。そして、塾がなくても大丈夫です。周りが塾に行きだして焦るかもしれないが、心配はないです。やることをやっていたら大丈夫です。塾・予備校に行っている人は、それだけで満足せずに、隙間時間も勉強してください。受験勉強は長くてしんどいですが、受験勉強は人生を変えることができます。そんなチャンスあまりないです。人生百年の時代、1年ぐらい本気でやるのは容易いことです。大学で学問をするために、人生を変えるためにetc そのために頑張ってください！スランプになることもあります、模試で結果が出ないこともあります、それは成長するために存在するので、その壁をぶち壊して第一志望に合格してください！応援しています！

⑦ K.N 大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 グローバル教育専攻・英語コミュニケーションコース 前期合格 バスケットボール部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

現役の時部活優先で考えていたので、勉強は学校でしかほとんどしていませんでした。学校で出される課題はやっていました。

(2)1.2年時の学習方法

1・2年の時は特に普段、学校以外で勉強することはなかったです。授業中だけは真面目に聞いておこうと心がけていました。部活が外練習の時は早く終わったりするので、そういう日はたまに学校で課題などを終わらせて、家で勉強しないで済むようにしていました。定期考査のときだけ、3週間前ぐらいから少しずつ予定を立てて勉強を始めていました。

(3)志望校の決定について

夏休みが終わるまで志望校が全く決まらず、悩んでいました。もともと国公立志望だったので3年の選択科目は数学の授業があるコースを選んでいましたが、指定校も考えていました。色んな人に相談して自分のやりたいことが明確になったので、大阪教育大学に決めました。家から近いことや学費が安いことも志望校を決めた理由になりました。正直、1・2年生のころは、大阪教育大学に進学するとは思っていませんでした。将来やりたいことや志望校が決まっていない人は焦る気持ちもあるかもしれませんが、考えたり悩んだりすることは大切なので、焦らず考えてみてください。まだ決まっていなくても全然遅くないので大丈夫です。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

1・2年の時と特に変わらず、授業の内容だけを学校にいる間に勉強していました。

②夏休み

受験勉強の仕方があまり分からず、ただひたすら学校の講習受けて、講習のない日は学校のワークや進路室で借りた問題集を学校に来てやっていました。数学は講習でやる問題などを中心に、英語は共通テストの過去問、予想問題を、理科基礎は参考書を買って内容を大雑把

に把握して、他の教科は講習以外ではほとんど触れていませんでした。塾などに行っていない人は、取れる講習を全部とることをおすすめします。いやでも勉強しないといけない環境を自分でつくることができます。

③9月～11月

平日は学校に残って19時前まで数学を中心に、学校を出た後は家の近くの図書館で暗記系を21時半までして、家に帰っていました。このように自分でスケジュール決めきると、何をするか考えずに済むので楽です。帰ってからはほぼ勉強はしていません。自分の場合は実践問題を解いた方が伸びるタイプだったので、共通テストの予想問題をよく解いていました。ほとんどすべて共通テストの勉強でした。

④共通テスト前

同じスケジュールで、どの教科も過去問や予想問題をたくさん解きました。本番での時間配分、問題を解く順番を考えながら問題に取り組みました。数学や英語は、特にやり直しに時間をかけました。理科・社会はとにかくたくさんの過去問を解きました。午前中に数学、午後から英語、夕方からの疲れてくる時間帯に古文漢文、理科社会をするように決めていました。ネットでセンターの過去問が何年分も見ることができるので、理科基礎、日本史、政治経済はセンターの過去問までネットで見ながら解いていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

二次試験は英語1教科で、共通テストの方が配点がかかなり高かったので、共テ前は二次対策一切していませんでした。英作文と英文和訳が中心だったので、学校の先生に添削してもらいながら勉強を進めていました。この期間も学校に来て勉強をしました。長文は毎日読んで英語慣れするようにしていました。

*私立入試直前

私立に行くつもりはなかったので、私立は共通テスト利用のみで受けました。そのため私立の一般入試の勉強はしていません。国公立大に絶対行きたいと考えている人は、欲張らずに、とにかく共通テストを頑張って、私立は共テ利用することで、国公立の入試に集中できるのでおすすめです。

(5)大学受験で大切なこと

学校の先生を頼ること。たくさん助けてくださいます。まわりに受験勉強を応援してもらえよう行動を心がけること。大学受験することがえらいことでも、当たり前なことでも全然ないです。

(6)後輩へのメッセージ

大学受験がすべてじゃないと思います。塾行かなくても大学には十分行けるので、無理せず適度に頑張ってみてください。

⑧ T . Y 大阪大学 文学部 前期合格
 剣道、茶道部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

剣道部という文武両道ができる部活に所属していたので、先輩に倣い稽古後に塾に通う習慣を作った。

(2)1.2年時の学習方法

入塾前は、数学の先取り学習をしていた。自分が家の中で勉強できないことが分かったので、2年の1月から入塾した。このときは、質より量を優先して英単語や文法など基礎的な問題をひたすら解いていた。

(3)志望校の決定について

哲学を学びたかったので文学部に決め、特に考えずに大阪公立大学を志望していた。しかし3年の4月には成績が思っていたより伸びたので、大阪大学に挑戦した。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

稽古終了後に塾に通い、世界史と英語を受講していた。この時期は、本気でがっつき勉強するということよりもコツコツ頑張っていた。この時期に勉強の習慣を作った。

②夏休み

文化祭準備で忙しくあまり勉強できていなかった。共通テストや志望校の過去問にふれて差を認識した。

③9月～11月

入試まで半年もあったので、なんちゃって漢詩を作ったり、歴史に出てくる土地に行ったり楽しく勉強していた。共通テストは5年分、国公立2次は10年分解いて傾向をつかんだ。

④共通テスト前

直前の模試で成績が良かったので、浮かれて新春セールのゲームを買ってしまい、直前対策に手が回らなかった。その結果、共通テスト本番で8割を切ってしまったので、油断大敵を身をもって感じ、2次試験の勉強を頑張った。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

科目を絞れて使える時間も多いので、このときが一番伸びていた。世界史は、教科書を読むほか、映像授業を見返す、知識が曖昧な東欧や中央ユーラシアの問題を解く等した。英語は英作文で使える表現と単語を覚えて、週5くらい長文を解いた。また、文学部国語の大問2の小説より、古漢で得点できるように勉強に集中した。

*私立入試直前

併願先の同志社大学の問題は奇問が少ないので、変わらず国公立向けの勉強をしていた。

(5)大学受験で大切なこと

勉強をする場所としない場所のメリハリをつける。なあなあで勉強しても身につかないので、気分が乗らない日は遊ぶ。スタートダッシュはなんぼ早くてもいいですからね。

(6)後輩へのメッセージ

合格体験記は、サンプルが少なく再現性も不明なので、手探りで自分にあった勉強方法を見つけましょう。勉強も大事ですが、高校生の今しか出来ないことの方がもっと大事だと思う

ので、友達と息抜きしながら頑張ろう。ファイター！

⑨ I . F 神戸大学 工学部 前期合格 体操部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活の引退は4月と早めだったので、それまでは少なめの回数で塾に通っていました。また、電車通学だったのでなるべく電車の中で勉強をするようにしていました。

(2)1.2年時の学習方法

普段から勉強する習慣はあまりついていなかったけど、授業はしっかり聞いていました。テスト期間は2週間前くらいから勉強していました。高2の冬あたりから少しずつ受験に向けて勉強をはじめました。基礎固めが終わって、どれだけはやく第一志望の大学の対策ができるかが大事なので、勉強の開始のタイミングは早ければ早いほどいいです。

(3)志望校の決定について

初めは自分のやりたいことに一番近いことができそうだったので大阪大学を志望していましたが、過去問の出来具合や共通テストリサーチの結果を見て、合格する可能性が高そうなので神戸大学に志望校を変更しました。あとから変えることもできるので、あえてぎりぎりまで上のほうの大学を目指してみるというのも1つの手だと思います。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

引退前は週2、3程度で塾に通って勉強していました。英語は単語や文法を覚えたり、数学はIAから復習したりするなどの基礎固めから始めました。

②夏休み

夏休みは塾にこもって勉強をしていました。夏休みまでに基礎固めをしようと思っていましたが、数Ⅲは量が多く思っていたよりも時間がかかりました。早めに共通対策や過去問演習に入るために、夏休みである程度基礎を固め終えるのが理想だと思います。この時期にモチベーションを保つために過去問を解いてみて、志望校と今の自分がどのくらい差があるのか知っておくのもいいと思います。夏休みにちゃんと勉強している人は模試の成績がちゃんと伸びているので、ここでサボらずに勉強するのが大切だと思います。

③9月～11月

このあたりから共通テストの対策を始めました。国公立志望の人は共通テストの結果が大事になってくると思うので、早めの対策がいます。もともとの第一志望の大阪大学は共通テストの配点が低いので、このあたりから地理の勉強を始めましたが、あまり点数が伸びなかったため、志望校の共通テストの配点が高い人は、特にもうすこし早く社会の勉強を始めるべきだと思います。

④共通テスト前

共通テスト前は過去問や予想問題集を解いて、わからない部分を復習ということを繰り返していました。しっかり時間を測って、本番と同じように解くのが大切だと思います。英語などは特に時間が足りなくなるので、何回も時間を測って時間配分を考えました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共テ後は私立の対策で忙しかったので、私立入試が終わってから本格的に解き始めましたが、それでも6,7年分くらいの過去問を解くことができました。共テが終わってからもできることはたくさんあるのでここが踏ん張り時だと思います。記述式の部分は塾の先生に採点してもらっていました。

*私立入試直前

私立大学の過去問を解いていました。共通テストが終わってから私立入試まであまり時間がないので、あまり余裕はありませんでした。第一志望ではないとはいえ私立の対策も国公立試験の役に立つはずなので、第一志望ではないからとサボらないほうがいいです。

(5)大学受験で大切なこと

受験で大切なことは勉強し続けることだと思います。受験は長期戦なので毎日同じ勉強量を保つのは難しいと思います。自分は特にメンタルが強くなかったので、全然勉強のやる気が出ないときは多かったです。勉強のやる気が起きないときは場所を変えてみるのもいいと思います。途中から図書館で勉強するのが自分にあっているなと気づきました。いい図書館を探すために図書館巡りをしている人もいます。あとは放課後によく友達と学校の図書室で勉強をしていました。休憩は大事ですが、自分の場合は一日勉強をしなかったら罪悪感がでてきて、逆にモチベーションが下がり、あまりいいことはありませんでした。色々工夫をして少しでもいいから毎日勉強を続けることが大切だと思います。

(6)後輩へのメッセージ

自分は第一志望の判定でほとんどがE判定でした。勉強はちゃんとやってもなかなか結果が出ないこともあり、やめたくなる時もあると思います。でも周りの人も意外と同じように思っているので助け合えるはずです。友達と励ましあって後悔しないような受験期にできるように頑張ってください！

⑩ H . B 高知大学 農林海洋科学部 前期合格 卓球部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

1.2年時は部活がない日や休日、部活であまり疲れすぎなかった日などに勉強する程度で先生方には申し訳ないですが、家に帰ってから勉強する日はあまり多くなかったので、両立できているとは言えなかったです。

(2)1.2年時の学習方法

1.2年次は前述のとおり、あまり勉強していたということはなく、授業で出された課題や提出物などを余裕があればしたり、翌日にある小テストの勉強をしたりなど1日に2時間ほど勉強していれば良いほうでした。中間や期末テストの2,3週間ほど前にテスト勉強を始めてテスト初日の3日前には提出物を終わらせ、提出物以外のための勉強(授業での英語の文章の暗記や数学の提出物以外の問題に触れるなど)をする意識をしていました。

(3)志望校の決定について

環境のことがしたかったので1年時は大阪公立大学の緑地環境科学科、2年時と3年時の途までは北海道大学の森林科学科を第1志望にしていたのですが、1年のうちから第2第3志

望に高知大学の農林資源科学科は入っていました。早いうちにやりたいことが決まっていたので志望校の決定や受験校の決定は早かったです。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

さすがに少しの焦りが出てきて数学は1.2年時の復習を始め、英語では英語長文の読解をできるようにするため英文読解の勉強をする、単語帳を見るなどちょっとでもいいので勉強をしない日を作らないようにしました。必ず2時間は勉強する程度の感じですが…。ほかにも講習を受けるなどして勉強時間を確保するようにしました。

②夏休み

夏休みに入る前には部活を引退することになったので、部活を引退したくらいから勉強に本腰を入れました。学校のある日は、学校に残って勉強したりもしました。夏休みは先の勉強をするのではなく、数学では1.2年時の復習を主に行い、英語では長文読解、国語では古文漢文の文法書を読み、化学や生物、地理などは寝る前に20分ずつ復習するなどしました。でも、勉強だけでなく、文化祭で劇をやることにもなっていたので、文化祭の準備も手伝いました。

③9月～11月

9月からは数学Ⅲの勉強を始め、英語などはより文章量の多い長文読解をする、化学は先回りして勉強し、生物や地理は問題集を解くなどをしました。11月になると公募制推薦入試の受験を12月に控えていたので、そのための勉強を始めました。とはいっても国公立のための勉強を主に行ってはいましたが。

④共通テスト前

12月の頭から共通テストの対策のために買った予想テストや問題集を解きだしました。しかしたくさん教科を1日でするのではなく、英語なら英語のテストをして復習を2時間ほどかけてやるなど、1日にやる教科数2,3教科に絞って行いました。しかしあまり点数が向上しているとは感じませんでした。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テストの自己採点をして自分で決めていたボーダーに到達しなかったため、志望大学を高知大学にして勉強を始めました。高知大学の受験科目は少なく1科目で受験が可能であり自身の得意な生物で受験が可能であったため、生物の問題を毎日解き日曜日に過去問を解くようにしました。得意科目でもあり、かなり共通テストのボーダー点数に余裕がある中で受験を決めたので、共通テスト前よりは心に余裕がありました。

*私立入試直前

自分の思っていた共通テストの点数には届かなかったものの私立大学の中で志望していた大学の共通テスト利用の点数には届いていたので、多少気楽には勉強をしていました。主には過去問を解き復習するこの繰り返しでした。

(5)大学受験で大切なこと

大学受験で大切なことは3つあります。

①大学を受験することが大学に進学をする人にとっての高校生活におけるゴールですが、大学に入るとそこがまた1つのスタートラインであり、人生おいての中間地点なので第1志

望に行けなかったからと言って落ち込みすぎず切り替えること。正直第1志望にきちんといける人は少ないです。

②自分の受験先を決めるのは共通テストですが、共通テストだからといって慢心せずに11月くらいから共通テストの対策を始めること。

③テストを受けるときは自分が1番賢いと思って自分が解けないなら周りも解けないと思い自信をもってテストを受けること。この3つで心に余裕ができると思います。

(6)後輩へのメッセージ

受験の方法は様々ありますが、自分の希望進路を実現できるのなら、どういった方法を使ってもよいので、希望の進路を実現できるように頑張ってください。しかし、どうしても無理だと思ったときは早めに誰かに相談しましょう。

⑩ Y . H 大阪公立大学 文学部 後期合格

「合格体験記」ではありますが、どちらかと言うと失敗談に近いです。受験生のときにやるべきだったと、後悔していることを書きました。僕なんかの経験が皆さんの一助になれば幸いです。また、僕は後期の対策はほとんどできなかったの、残念ながら後期試験(小論文)への助言を求めてこのページを開いた方のご期待には沿えないかもしれません。こんな人でも合格できたんだ、という最小値を知ることがせめて皆さんの安心材料になることを祈っています。拙い文章なので、面倒であれば適当に読み飛ばしてください。

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

入部していなかったので、わかりません。

(2)1.2年時の学習方法

テスト勉強を熱心に行ったり、毎日1時間程度授業の予習をしたりしていました。他の人より勉強というものに対する慣れはあったのかもしれませんが、それくらいです。それほど高得点がとれていたわけでもないです。この時期に覚えたことはいくつか受験にも役立ちました。

(3)志望校の決定について

2年生の三者面談の際に、担任の先生が「頑張ったらいけるかもしれない」という指標として挙げてくれた大阪大学を、当面の目標にしていました。僕は大学についてあまり興味がなかったの、他の大学と比較して吟味することもせず、そのまま第一志望にしました。結果的には、大阪府内にあること、難易度において目標として申し分ないことを鑑みても良い決断だったと思います。あと、名前がかっこいいです。同様に、大阪府内の国公立大学という条件を満たした大阪公立大学を第二志望に決めました。国公立を志望していた理由は、5教科7科目を突破する方がかっこいいと思ったからです。前述の通り本当に大学に興味を持てなかったの、私立についてはほとんど調べることもなかったし、共通テスト利用などの制度も知りませんでした。それどころか第一志望や第二志望についてもあまり知りませんでした。本当にダメな受験生だったと思います。可能な限り大学や入試については調べておいた方がいいと思います。志望する理由自体は、そのために自分が頑張れるならなんでもいいと思います。

(4)3年時の学習方法

①夏休み前

夏休みまでは、国数英(主に数学)をやりながら、倫理を並行して進めていました。この時期に失敗したな、と感じていることは大きく2つあって、①「過去問を確認しなかったこと」と、②「分厚い参考書を全てやり通そうとしたこと」です。①については、僕は英語が中学生の頃から得意で、こと長文に関してはある程度自信があったので、英語の勉強は単語帳だけで十分だと慢心していました。2次試験に英作文が必要なことを失念していたのです。早い段階で対策を始め、添削指導を受けていればよかったと後悔しています。皆さんにはこんな失敗はないかもしれませんが、どういう類いの問題が出るのかだけでも早期に確認しておいた方がいいと思います。②については、僕は、参考書は全て完璧に終わらせるべきだという信念のもとに青チャートを手にし、練習問題にも exercise にも懸命に取り組んでいました。これに膨大な時間を費やすことになってしまい、冬頃までかかってしまいました。全くの徒労に終わったという訳ではありませんが、参考書は必要な部分を取捨選択するのも重要だと思います。

②夏休み

同様に数学ばかりやっていました。皆さんは有効活用してください。

③9月～11月

この時期から理科基礎、政治経済、日本史の順に本腰を入れて勉強し始めました。『共通テストはこれだけ！生物基礎』『きめる！共通テスト化学基礎』『蔭山の共通テスト政治・経済』『共通テストはこれだけ！日本史 B』をそれぞれ使いながら国数を進めていました。理科基礎に関しては1ヶ月あれば満点も期待できます。これらの暗記科目は、参考書の重要な部分を携帯で撮影して教科ごとに整理し、一人の時間があれば常に確認していました。座って参考書を読む時間は「理解」の時間にして、「暗記」はその他の隙間時間を利用するのが性に合っていました。じっと座って重要単語の羅列を覚えるのが苦手な人にはおすすめてです。しかし、インプットを重視するあまりアウトプットをおろそかにしてしまいました。社会は特に、ある程度知識が定着したら、共通テスト形式の演習をたくさんした方がいいと思います。また、『漢文早覚え速答法』という参考書を教えてもらったのもこの時期だったと思います。すごくおすすめてです。個人的には、漢文はこの一冊で十分だと感じました。

④共通テスト前

主に社会に時間を割きましたが、焦りからか参考書上を目が滑るばかりでした。おかげで本番では一部記憶が脱落していました。最後まで落ち着いてください。ちなみに、なんとか第一志望のボーダー前後はとれました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

〈前期〉

この頃にはもう心が折れそうでした。担任の先生の「もう少しで受験も終わりだから」というエールを思い出して辛うじて机に向かっていました。数学→英作文→国語の順で対策しましたが、結局数学に大きく時間をとられ、苦手な国語をほとんど手付かずのまま本番を迎えました。過去問では主に数学次第でどうにかくらの手応えでしたが、残念ながら、数学を筆頭に難化した年だったので、失意の中後期を迎えることになりました。そもそも直前でそ

んなことを言っている時点で結果はもう自明でした。問題との相性や当日の状態によって、本番で自分の100%が出せるとは限らないので、何か不調があっても合格できるくらいに自分を高めておくべきだと思います。国語についてはより長期的に、継続的に対策するべきでした。また、添削を誰かにお願いするべきだったのではないかと思います。

〈後期〉

国語が苦手で、なおかつ小論文の対策もしてこなかったのが、ほとんど諦めてしまっていました。前期から後期までの約2週間は小論文の参考書を眺めた程度で、過去問もとうとう一年分も解くことがないまま本番の日を迎えました。当然、手応えは良くありませんでした。記述問題は解答欄が大幅に余り、小論文は作文レベルだったと思います。参考書に書いていたことも無視しました。合格したのは本当に奇跡としか言いようがありません。だから最後まで希望を捨てないでください。でもちゃんと対策はしてください。

*私立入試直前

受けていません。

(5) 大学受験で大切なこと

いくつか伝えたいことがあるので、箇条書きになります。

- ・勉強面でも、精神面でも、辛くなったら周りの人を頼ってみてほしいです。快く力になってくれると思います。多分、自分が思っている以上に周りの人たちはあなたのことを応援しています。少なくともこの学校にはそうした素晴らしい人がたくさんいると思います。
- ・「間違えたところを2度と間違えないようにする」というのが勉強の意義だと思います。難しい問題に直面して、挫折しそうになったらそう考えるようにしています。勉強が辛いときは思い出してみてください。
- ・僕の最大の過ちは無計画だったことです。我ながら怠惰な受験生でした。計画的に正しいやり方を選べば必ず望む結果が得られるはずです。綿密に考えなくてもいいので、一度過去問などを見て何が自分に必要なのか逆算しておいてほしいです。

(6) 後輩へのメッセージ

この学校にはすごく素敵な人がいっぱいいますが、その人たちとみんなで一緒に過ごせるのは高校生の間だけです。月並みな言葉ですが、本当に思っているより早く終わってしまいます。会いたい人たちに会えるうちに、できるだけ多くの楽しい時間を一緒に過ごしてください！僕は今卒業してすごく寂しいので、僕の方まで楽しんでくれたら助かります！

少しでも糧にしてくれればいいなと思って長々と書いてしまいました。僕の書いたことがほんの一瞬でも誰かの力になればすごく嬉しいです。でも全部忘れてもらっても大丈夫です。とにかく自分のできる限り頑張ってください！所詮無力な部外者に過ぎませんが、成功を祈っています！！僕なんかより皆さんの方が絶対に優秀なので大丈夫です！！

⑫ K. K 大阪教育大学 教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース 後期合格 吹奏楽部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

朝は5:30~6:00の間には必ず起きるようにして、朝練が必須だという部活ではなかったの、ある程度学校に行く準備ができてから勉強し、登校していました。部活が大体18:00頃

には終わるので、帰宅後は、少しゆっくりした後に勉強していました。また、吹奏楽部は、引退時期が三年の八月半ばだったので、夏休みが終わるまでほぼ一週間しか残っていないのに加えて、他の部活の子たちが引退し、完全にスイッチを切り替えている姿を見て、焦りを感じたりもしていましたが、自分の与えられた状況の中でできる限りのことをしようと思っていました。

(2)1.2年時の学習方法

1,2年のころは全く受験を気にしておらず、とにかく小テスト、定期テストに向けた勉強と授業の復習を行っていました。今思い返すと、小テストや定期テストもその場しのぎでただ暗記するだけではなく(私の場合それができないだけですが)長期的に記憶に残るように学習していたので、模試などでも特にひどい成績をとることもなかったのかなと思います。

(3)志望校の決定について

志望校を最終的に決定したのは3年生の秋くらいだと思います。私は教師になりたいのですが、生徒がみんな教師になりたいと思っているわけではなくて、いろいろな夢を持っている生徒がいるので、そんな生徒たちの夢を後押しできるように、いろいろな職業をめざす人が集まる総合大学に行きたいと思い、前期に総合大学に出願しました。ですが、やはり教育だけに特化して学ぶことのできる教育大学の魅力も捨てきれなかったため、後期に教育大学に出願しました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

3年時も一貫して22:30までには寝て、6:00に起きるという生活を徹底していたので、何があっても夜遅くまで勉強することはありませんでした。その代わりに、休日であっても早く起きて、まず勉強するというルーティーンを作っていました。

②夏休み

夏休みといっても部活を引退してから一週間しかなかったのですが、共通テストの過去問に取り組んでいました。夏休みでも、先述したルーティーンは崩さないように意識していました。

③9月～11月

主に、志望校の過去問と共通テストの実戦形式の問題に取り組んでいました。

④共通テスト前

共通テストの実戦形式で問題を解いていました。夜も眠れないほど不安に思う日もありましたが、私は睡眠時間だけは絶対に確保したかったので、意地でも違うことを考えて寝るようにしていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

国公立2次試験前期まではずっと過去問とそのやり直しをして、わからないところや採点してほしいところがあれば、塾などには行っていなかったため、学校まで持って行って先生に見てもらっていました。国公立2次試験後期までは、私の場合筆記試験がなく、面接試験だったので、聞かれそうだと感じたことをピックアップしてそれに対する答えも丸暗記していました。

***私立入試直前**

私立大学の一般入試は受けていませんので省略します。

(5)大学受験で大切なこと

最後まで諦めないことだと思います。よく、最後の一秒まで諦めずに…と言いますが本当にその通りだと思っていて、試験が終わってから、みなさんも定期テストなどで、「うわ、あの問題解けたやん」とか考えてしまうことってありませんか？そんな後悔、入試でしたくないじゃないですか。その後悔を防ぐためにも、最後の一秒まで考え抜くこと、最後まで諦めないことってすごく大切だと思います。あとは睡眠時間です。

(6)後輩へのメッセージ

これからの短いようで長い受験期の中、挫けそうになることだって辛くなって逃げだしたくなる時だって絶対あります。しかし、それは当たり前のごとで、一生懸命やっているからこそ辛く感じるのだともよく言いますよね。それだけ何かに熱中して取り組める自分、めっちゃめっちゃ偉いです！たまには自分を褒めてあげて、最後まで自分を信じぬいてあげてほしいです。あと、実は人生ってうまくいくようにできていて、たとえ自分の思うように行かなかったとしても、前向きに生きていたら絶対いいことがあるんです。だから少しでも、物事を前向きに捉える努力をしてみてください。

⑬ T. K 大阪教育大学 教育学部 学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース 学校推薦型選抜合格 放送情報部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

朝のSHR前には当日の小テスト勉強を、帰宅後には、その日の宿題や授業の復習、翌日の小テスト勉強をするなど、勉強をする時間を設けて、メリハリをつけていました。

(2)1.2年時の学習方法

【勉強の中心】

授業の復習と小テストの勉強を中心にしていました。復習と小テストを大切にしていたのは、基礎をしっかりと身につけるためです。基礎は難しい問題に挑戦するときの土台となりました。

【苦手教科の対策】

数学が苦手だったため、授業のない日も公式を復習したり、問題に触れたりするように心がけていました。主にサクシードを使用し、分からない問題が出てきたときは、チャート式で類題を探し、解法を身につけていました。私の経験上、苦手教科は学んでもすぐに忘れてしまうので、毎日触れることが大切だと思います！

【定期テストに向けて】

問題集は、提出期限をベースに計画を立て、2周以上出来るように取り組んでいました。定期テストは、基本的に8割、得意教科は9割の点数を目標にしていたのですが、問題集をコツコツと取り組んだことで、テスト勉強がはかどり、ほとんどの教科で目標を達成することが出来ました。また、テスト前に苦手教科を重点的に取り組む時間が作れました。

(3) 志望校の決定について

【志望校決定の経緯】

母校でのボランティア活動の経験が生かせること、これからの新しい学校教育の形について学ぶことができることに惹かれ、3年の夏頃、次世代教育専攻教育探究コースを受験することに決定しました。また、夢である、小学校教員の免許状が取得できることも決め手の一つです。

【学校推薦型選抜に決めた理由】

学校推薦型選抜という受験方法は、面接において、ボランティア活動でのエピソードや教育に関する自分の考えを生かすことができることから決定しました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

【春から始まる学校の進学講習】

進学講習では、受験に必要な教科はできるだけ全て受講しました。新学期が始まって約1ヶ月後には1回目の共通テスト模試があります。模試までに授業で間に合わない分を、講習で先取り出来るものもありました。(私の場合は日本史B)(今年度も開講されるのかは分からないので、各自で案内を確認してください。)

【学習習慣の確立】

学習習慣を確立するために、いつどの教科を勉強するのか計画を立てるところから受験勉強を始めました。授業をベースに、学校で購入したワークに取り組みました。また、地歴公民に関しては、授業の先取りとして教科書を読んでいた。(これを読んでいる3年生の皆さんはすでに実感しているかもしれませんが、特に歴史の教科書って他の教科と比べて分厚いですよね?早めに軽く触れるところから始めておくことをオススメします!この時期に学習を始めても、全て理解するのが共テ前ギリギリになりました…)

②夏休み

夏休み期間は、苦手な、数学と日本史(文化史)を重点的に学習しました。数学は、講習の受講と並行して、ワークを解法がしっかり理解できるまで復習しました。日本史(文化史)は講習を受講しました。しかし、理解に時間がかかってしまったため、夏休み前から少しでも学習しておけば良かったと後悔しています。苦手教科は早めに対策を始めましょう!また、私は塾に通っていなかったため、自習室が開放されている日は毎日学校に通って学習していました。

【共通テストに向けて】

実践対策問題集を使って、まずは国語・数学・英語の共通テストの形式に慣れるようにしました。このときは、あくまで慣れるのが目的だったため薄めの教材を購入しました。(参考までに…「大学入学共通テスト実践対策問題集」シリーズ/株式会社旺文社)

【部活との両立】

放送情報部は文化祭・後夜祭のリハーサルに常に参加していたので、リハーサルの隙間時間を利用して暗記系の学習をしていました。

【2次試験(前期)の対策】

2次試験の対策として河合塾の小論文夏期講習にも参加しました。講師の先生が、図を使って小論文の書き方を教えてくださり、分りやすかったです。同窓会が支援してくださった

ので、費用の負担が少なく取り組めたのもよかったです。

③9月～11月

【学校推薦型選抜への準備】

学校推薦型選抜を受験するために面接と活動報告書の準備を始めました。面接は、過去問(学校教育コースのもの)を使用し対策しました。集団面接だったので、他の学校推薦型選抜を受験する友人と一緒に進路指導部の練習会に参加しました。活動報告書は、国語科の先生に添削してもらいながら作成しました。

【共テ対策にかかる時間】

学校推薦型選抜の準備を始めると、共テ対策に費やせる時間が減りました。そこで、「国語は授業での過去問演習で対策すること」や、「授業での問題演習で理解できなかったところだけ自習すること」等、効率的に学習できるように計画を見直し、学校推薦型選抜対策、共テ対策を無理なく両立できるよう工夫しました。計画通りに学習を進められなくなったら、見直すことも大切です！

④共通テスト前

【復習の大切さ】

この時期になると、授業で過去問や実戦問題を解く機会が多くなりました。過去問演習では、時間配分と点数を気かけました。共テの形式だと解けない問題・時間が足りない問題が出てきて焦ることがありました。そのようなときは、解いた問題を復習することはもちろんのこと、その分野の理解が不十分であれば、今まで使ってきたワークで復習しました。この時期は、新しい教材に手をつけるのではなく、今までの復習をして知識を定着させました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

2次試験は、前期は小論文・活動報告書、後期は面接・活動報告書でしたが、学校推薦型選抜に合格したため、受験していません。ただし、小論文は、過去問(学校教育コースのもの)を使い、国語科の先生に添削してもらいながら対策しました。

*私立入試直前

共通テスト利用入試で受験したので、私立の対策はしていません。

(5)大学受験で大切なこと

大学受験で一番大切なことは「私は〇〇大学に行きたいんや！」という目標です。目標を決めていると、そこから逆算して、いつ何をすべきなのか明確になります。しっかり計画を立てて、毎日の積み重ねを大事にしてくださいね。

(6)後輩へのメッセージ

「受験は団体戦だ」とよく言われます。私は、この言葉には「みんなで助け合って受験という壁を乗り越えよう」という意味が込められていると思っています。あなたの周りには、友人・先生・先輩・保護者の方などなど力強い味方がついていきます。模試の判定が悪く「私は〇〇大学に行けるわけがない」と思い、受験を諦めたいと思うときがあるかもしれません。そんなときは、周りに頼っちゃいましょう！不安なのはあなただけではないのです。アドバイスをもらったり、ときには雑談をしてリラックスしたり…。頼れる味方の一つとして、この合格体験記があなたの支えになればと思います。ここまで長文を読んでいただきありがとうございました。皆さんの頑張りを応援しています！

**⑭ C. K 兵庫県立大学 社会情報科学部 学校推薦型選抜合格
漫画研究部、食物研究部**

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

活動日がほとんどなかったので、ほとんど学習しかしていません。

(2)1.2年時の学習方法

電車通学だったので、通学時間に毎週ある小テストの勉強をしていました。1年の後期から、放課後に出来るだけ教室に残って、課題と定期テスト勉強をしていました。ノートや教科書、配られたプリントを見返すなど。推薦で大学入試を受けたかったので、提出物をしっかりやって期限内に出したり、学習成績の状況(評定平均値)を上げる努力をしました。

(3)志望校の決定について

情報について学びたかったのと、国公立大学を受験したかったので、その条件で調べて高2の時に決めました。私立は公募制推薦入試があり、家から通いやすいところで考えました。どちらもオープンキャンパスには行きました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

塾に通い始めました。学校で出た課題と、塾で出た課題を期限内に終わらせていました。学校で数学と漢文の講習を受けました。

②夏休み

第一志望の大学を受けるために必要な科目の講習を時間帯がかぶっている講習を除き、全て受講しました。学校推薦型選抜のために、夏休みに、同窓会支援の河合塾小論文講座を受講しました。学校で講習のある日は自習室で勉強もしました。9月に英検を受ける予定があったので、英語は英検の勉強が中心でした。英検の過去問を解いたり、熟語や単語を覚えたり、youtubeの英語の聞き流しを流しながらご飯食べたりしました。数学はチャート式と基礎問題精講を解いていました。

③9月～11月

学校推薦型選抜のための面接練習がありました。学校の先生に頼んで、今までに推薦受けた人の受験レポートをもらい、そこに書かれている面接の内容や答えたことなどを読んで傾向をつかんだりしました。実際にレポートに書いてあったことを自分の面接のときにも聞かれたので、読んでおいてよかったと思います。小論文の過去問では英文の要約が出題されていたため、英語の先生に添削してもらいながら要約の練習をしました。夏休みに受けた小論文講座でもらったプリント類を見返し、小論文の書き方と形式を出来るだけ覚え、その形式通りに書けるように新聞などを読んで自分の意見を考えるようにしていました。英語の長文を早く読めるように長文を読む練習もしました。数学の記述問題もあったため、学校の授業で使っていた数学演習問題集で記述の勉強をしました。

④共通テスト前

志望校合格後に受けたので、大学から出された課題くらいしかしていませんでした。

⑤共通テスト後

- ・国公立2次試験対策・・・受験していません。
- ・私立入試直前

受験する学部の過去問を出来るだけ解きました。分からなかったところは人に聞いたりし

ていました。(年内の公募制推薦入試)

(5)大学受験で大切なこと

第一志望の大学を早く決め、その大学の受験科目を調べておくことや講習などを出来るだけ申し込んだりするなどして、勉強しなければならぬ環境を作ることが大切だと思います。スマホも電源を切ったり別の場所に置いたりしておく、取りに行く方がめんどくさくなるので勉強に集中できおすすです。自分の受験したい大学の受験方式と日時を確認しておくのも大切だと思います。配点の重い科目を重点的に勉強したり、早い時期に入試があれば、その入試に向けての準備期間を長めに取れたりするからです。勉強ばかりではすぐに受験辞めたくなると思うので、体育祭とか文化祭を全力で楽しんだり、適度に友達と遊んだりしゃべったり、息抜きをすることも必要だと思います。休みすぎは禁物ですが。

(6)後輩へのメッセージ

3年生になるまでに英検二級に合格しておくことをお勧めします。公募制推薦入試という11月辺りにある大学入試で利用できる大学があるので、滑り止めとしても本命としても受験しやすくなると思うし、落ち着いて受験出来るようになると思うからです。

⑮ A . T 同志社大学 政策学部 合格 ソフトボール部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

私がソフトボール部に所属していた時は、オフが土日にあることはほとんどなく、だいたい平日にあるくらいで、練習も平日は6時半まで、土日はいつも午後からの練習でした。私はソフトボールの「選手」ではなかったのですが、正直勉強と部活を両立するのは難しかったです。しかし、受験を意識しだしてから毎日塾に行ったり、土日も午前中に塾に行ってから部活に行ったり、家で勉強できるタイプではなかったのですが、塾の自習室を活用していました。部活帰りに塾に行っても、眠たすぎる日も何日もありましたが、そういう時はコーヒーを買ったりして耐えていました。それでも集中できないときは頭に入らないので20分仮眠をとってから始めたりしていました。私がいんどいなら、なおさら部活で動き回っている人たちはもっとしんどいと思うので、集中できないまま続けず、休憩をはさんだりして、メリハリをもって取り組むのが大切だと思います。

(2)1.2年時の学習方法

正直1年と2年の冬くらいまでは、漠然と「勉強しな」って思っただけで何も考えてなかったのですが、テスト前に勉強する、小テストの勉強ちょっとするくらいで、ちゃんとした「受験勉強」はしっかりできていなかったかなと思います。でも今思えば、やっぱりもっと早くから受験勉強をしておけばよかったと思います。2年の冬から塾に通い始めて、毎日塾に行くようになり、今までの勉強で理解できていないところの授業を受けて、単語など基本的なことをはじめました。学校ではこの時期に、すでに単語帳の大部分を勉強し終った人もいて、焦って始めました。

(3)志望校の決定について

はじめは関西大学に行きたいと思っていましたが、せっかくなら上の同志社目指そうと思って同志社大学にしました。学部は特にこれが勉強したい！という分野はなかったので、広範囲に学べる学部がよかったのと、調べるうちに自分の興味があることについて学ぶことが

できること、学部ホームページやパンフレットの雰囲気がいいなと思ったので政策学部を選びました。すでに志望校が決まっている人も、決まっていない人もいますが、志望校や学部は早めに調べておいて損はないと思います。私は志望校が自分の中で決まったのが結構遅かったのですが、志望校がまだ決まっていないことに不安で焦ったりしたので、もっとはやく情報収集しておけばよかったなと思います。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

部活でいけない日以外はほぼ毎日塾に通っていました。英単語や古文単語など演習よりも基礎を固めていました。

②夏休み

志望校の過去問を最新のものから順番に解いていました。同志社大学過去問10年分と関西大学過去問5年分(どちらも全学部日程)を9月頃に終わらせていました。英単語が弱かったので毎日単語帳をやっていました。受験本番の試験時間に合わせて過去問に取り組んだりしていました。

③9月～11月

塾でとった単元ジャンル別の演習講座で毎日、志望校の学部別日程の過去問や苦手ジャンルの演習をしていました。英単語は少し間を空けたら、だいぶ忘れていたのでそこからは継続して続けていました。英単語や古文単語の基礎系は継続が一番大事だと思います！単語帳の見出し語はもちろん、過去問に出題されたりしていたので、関連語なども覚えたりしていました。1回過去問をといて傾向に合わせた対策をするのもいいと思います。あとは日本史を詰めていました、まず授業受けておまかな歴史の流れを把握してから一問一答でひたすら繰り返し見て覚えています。私立はマニアックな日本史問題が出たりするけど、そこにとらわれすぎずしっかり基本や間違えやすいポイントを押さえていけばいいと思います！ただ一問一答で覚えすぎるとよくないので、ノートに時代の流れをまとめて見返せるようにしていました。

④共通テスト前

あまり共テは関係なかったのですが、夏休みの間にといた過去問をもう一回解いたり、ひたすらに演習して間違ったところを理解する作業を繰り返したり、単語などを継続していました。私立大学は大学によって問題の特徴がちがうので、自分の志望校で出題される問題に合った勉強をしていました。

⑤共通テスト後

***私立入試直前**

演習を繰り返して④と同じことを継続して行っていました。受験直前期はひたすら演習と基礎を繰り返し行っていました。また、日本史一問一答をひたすらやっていました。単語などの基礎系をして、過去問も解いていました。ここから点数上げることができるのは歴史だと思ったので日本史の確認をひたすらにやっていました。

(5)大学受験で大切なこと

メンタル!!! しんどい勉強を継続したり、自分からすすんで勉強したり、長時間勉強し続けたりするには強い気持ちがないとできないと思うので、自分をコントロールするためのメンタルや、成績が伸び悩んだりするときに耐えて頑張れるメンタルが大事だと思います

す。私立受験は何日も連続して受験したりするので、前日の出来がどれだけ悪くても、気持ちを強く持つことが大切です。

(6)後輩へのメッセージ

まずは高校生活楽しむのが一番やと思います！！ほんまにあっというまに終わったし、他の学年のことはわからないけど、私は八尾高校 76 期が先生も友達もみんないい人たちばかりで、入学してよかったと思っているので、これから受験勉強を頑張る皆さんも、勉強勉強で手一杯かもしれませんが、根詰めすぎずに、学校でいい思い出をたくさん作ってください！

受験勉強については、先生や塾の人とかにもいろんなことを言われていると思いますが、受験勉強をしているときは、毎日学校に行って勉強しての繰り返して面白くないし、自分の趣味や娯楽に使える時間を勉強にあてないといけないうし、努力してもすぐに結果につながるわけじゃないから、しんどい、つらいと思うことがほとんどだと思います。私は受験が終わったから言える身ですが、今やっていることはぜったい結果につながっていくと思うし、最後の結果がどうであれ、自信もって、自分はやり切ったと思えるくらい頑張れば、受験を終えた時の気持ちが全然違うと思います。しんどくても今やっていることは絶対無駄にはならないし、いい結果で帰ってくると思います！受験が終わったら楽しい生活が待っているので、自分の希望の進路に進めるように頑張ってください！応援しています！

⑩ S. S 立命館大学 文学部 合格 硬式テニス部

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

基本的に部活動を優先しており、小テスト前や授業内で出た課題をこなす程度でした。今振り返れば、勉強習慣を身に着けるためにはもう少し頑張ればよかったなと思います。ほんとに 1 日に 30 分やることを続けていれば、受験生になったときに周りとの差がつくと思います。

(2)1.2 年時の学習方法

1 でも述べたように、小テストの前日に少しやったり、テスト 2 週間前から課題をこなしたりする程度でした。そのため習った範囲のこともテスト期間になるころには忘れていたというような状況でした。

(3)志望校の決定について

正直、この学部に入りたいというよりは、将来この職業に就きたいのほうが強かったため、2 年の夏休み前までは決まっていませんでした。自分のやりたいことに関わる観光系か、得意科目であった日本史を学べる学部があり、特に数学が苦手な自分が戦えると感じた大学を探した結果、立命館大学を選びました。

(4)3 年時の学習方法

①部活引退前

この頃は英単語帳や日本史の一問一答、古典単語や文法の基礎的なことをやっていました。テニス部は他の部活と比べて引退時期が早く、出遅れていた自分が周りとの差を埋められるチャンスだと思って頑張りました。ただ勉強することに必死になって、あまり部活に行かなかったこともあり少しクラブの仲間と気まずくなることがありました。

②夏休み

前半は一人で図書館や塾で頑張っていました。ただ、一人でやるとどうしても甘えてさぼってしまい、やる気が起きなくなってきたので、後半からは学校の自習室に来て、友達と勉強するようにしました。よく友達と勉強すると集中できないといわれますが、切り替えができていた友達や勉強得意な友達とやると頑張ることができました。自分が今日やることを友達に直接宣言すると、できなかったときに恥ずかしい思いをするので、特に頑張ることができました。基本学校や塾の講義系の講習はあまり取りませんでした。夏は基本的なことを反復してできるチャンスなので、講義はどうしてもわからない教科などに絞ることをおすすめします。3年生は文化祭の準備と被りますが、息抜きもかねて参加したほうがいいです。

③9月～11月

この時期は公募制推薦入試に向けての過去問と問題演習を並行してやっていました。自分は滑り止めともう一つ難易度が低い大学の公募制推薦入試を受験しました。ただ、滑り止めで受けた大学は3点差で不合格となり、結構落ち込みました。しかし、国英の力がついてきているという自信と、自分を不合格にしたことを見返してやるという謎の反骨心で、その後の勉強を頑張りました。この期間で本当に国英の力がつくと思うので公募制推薦入試はチャレンジしてみてもいいかもしれません。

④共通テスト前

自分は共通テストを受験しなかったのですが、1週間に1回のペースで志望校の過去問をやっていました。土日に過去問をやって、できなかったところや難しく感じたことなどを平日に潰しました。あとは得意教科だった日本史は、共通テスト前に友達のわからなかったところを解説したりすることで自分自身の勉強にもしていました。年末の図書館や塾が閉まっていた時は友達とマクドで勉強するなどしてできるだけ家から離れていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

私立志望だったのでやっていません。

*私立入試直前

この時期はひたすら過去問を解きまくりました。学校でも自習時間が増えたりしてきたのでその時間に英語の長文や国語の読解をやったり、朝早く学校に来て静かなうちに問題をやるなどしていました。大学によっては、日本史の同じ語句や同じ英単語が何年後かに出題されるケースがあるのでわからない語句、忘れていた語句はメモして蓄積することも良いかもしれません。

(5)大学受験で大切なこと

ありきたりですが、あきらめないことだと思います。自分自身ももっと1・2年生の時に勉強しておけばよかった、と後悔していました。ただ、そこから何とか巻き返そうとあきらめずに頑張ったことで、こんな自分でも合格できたので、3年生になって後悔している人は特にあきらめず根気よく頑張ってください。もちろん、1・2年生の人は早めに勉強習慣を身につけておいたほうが絶対に3年生になったときに力になるので頑張ってください。あとは、一緒に頑張れる友達と勉強することです。一人でやる時よりも断然はかどります。

(6)後輩へのメッセージ

3年生の1年間は全体的にしんどい1年です。模試で同じ大学志望の友達のほうが自分よ

り成績がよく、自分は思うような力を発揮できない時や周りの友達の進路が決まってくる中で自分は受かるかどうかの不安の中勉強する時など、ほとんどの人が一度は挫折するかもしれません。ただ、そんな時にこそ自分を大切にしてください。誰か信頼できる人に愚痴ってすっきりするなんてことがあるかもしれません。受験は学力と同じくらい自分のメンタルも大切です。自分なりに、ストレス発散しながら自分のペースで頑張ってください。一人でも多くの方が自分の進路を実現できるよう応援しています。



大阪府立八尾高等学校